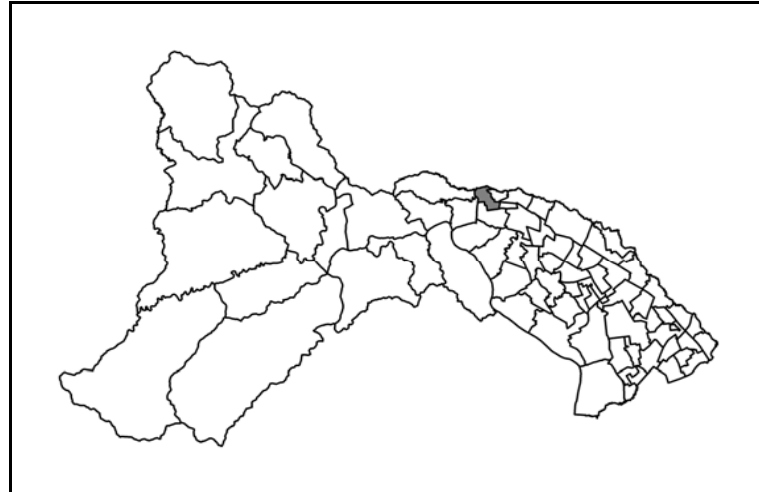


○地区を構成する町丁

【緑区】相原2丁目～6丁目、西橋本5丁目、二本松3丁目・4丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

橋本(自治会法人相原森下, 自治会法人相原当麻田, 相原森の上, 二本松, 二本松町内会)

○地区概況

台地(上段)にあり、北端を境川が流れる。主要な道路は地区のほぼ中央を横断する国道413号で、これより南部は主に住宅地と工業用地で、北部は主に住宅地と農地が混在する。北部は境川に向かって土地が低くなる。また、西部には県道506号八王子城山線が通っており城山地域に達する。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)
建物	木造(昭和55年以前)	682	棟	
	木造(昭和56年以降)	1,464	棟	
	非木造(昭和55年以前)	63	棟	
	非木造(昭和56年以降)	375	棟	
合計		2,584	棟	
人口		区分		人口(人)
人口	0～4歳	351	人	
	5～64歳	6,469	人	
	65歳以上	1,933	人	
	合計	8,753	人	

○所見

・境川沿いは土地が低い。
・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある(風向きによってはより重大な被害のおそれもある)。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	相原連絡所, 相原公民館
警察署	相原交番
消防署	相原分署
消防団詰所	相原
病院等	相原病院, 真島医院
主な災害時要援護者施設	相談支援事業所 ぼらりす, 花物語 さがみ北, 児童デイサービス グリムハウス二本松, グループホーム シオン相模原, さくらの家, ケアホームさくら
幼稚園、保育園	相原保育園
学校、大学	相原小学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	※相原小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	相原小学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

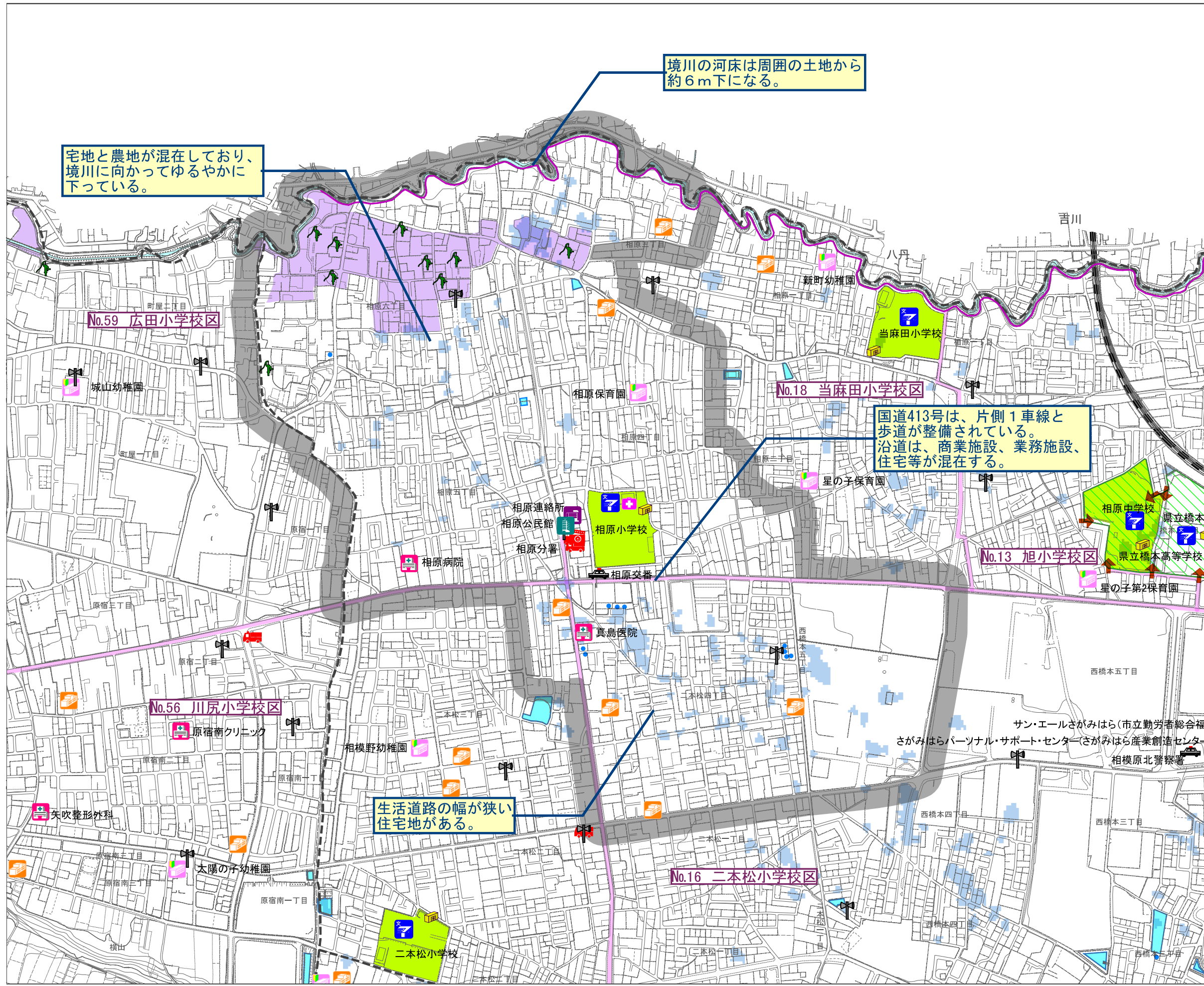
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	130 棟	5.0 %	119 棟	4.6 %	4 棟	0.2 %
建物焼失	31 棟	1.2 %	11 棟	0.4 %	0 棟	0.0 %
死者	8 人	0.1 %	8 人	0.1 %	0 人	0.0 %
閉込者	40 人	0.5 %	36 人	0.4 %	1 人	0.0 %
重傷者	11 人	0.1 %	10 人	0.1 %	0 人	0.0 %
軽傷者	69 人	0.8 %	66 人	0.8 %	11 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	335 人	3.8 %	282 人	3.2 %	22 人	0.2 %
避難所避難者(1週間後)	674 人	7.7 %	628 人	7.2 %	156 人	1.8 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■
土砂災害	■■■■
地震による地盤災害	■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■

○近年の主な災害履歴

平成 2年 8月 8日 床下浸水9戸
平成20年 8月28日 床下浸水1戸



凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)